

【米田主宰の俳句】

十三夜

米田規子

金木犀星降る夜のものがたり
シートを干して鰯雲の海の中
十月や画廊のとなりパン屋さん
束の間のひとりの宇宙虫時雨
オクラのスープ星のいくつかゆらゆらと
ときめきのうっすら残り十三夜
秋霖やバッグに赤い電子辞書
秋冷の虚空クレーンの長い首
秘めごとの千日紅の揺れどおし
雁渡し急な坂道登り切り